

～ビジネスで明日から活かせる～

JPAA知財活用講座 (第1クール)

オンライン開催



JAPAN PATENT ATTORNEYS ASSOCIATION

JPAA 日本弁理士会

2024年11月19日(火)、11月26日(火)、12月3日(火) 各日13:30～17:30開催
終了後、講師を交えた任意参加のフリートークタイムあり

講座の特徴

本講座は、ビジネスの中で知財の活用を意識され、特許、商標などの制度が概ねどのようなものかをご存知の方を対象に、**日々の業務の中で何に注目して何を考えて仕事をすれば事業に知財を活かして収益に貢献できるのか**をお伝えするものです。

初めに、「実際に何をしたら事業に知財を活かしたことになるのか」についての講師陣による回答をお示しし、3日間で、「**事業に知財を活かす**」ための考え方を**グループワークを通じて体感**して頂きます。また、法律の話は最小限にして、**企業の現場で考えるとよいこと**をお伝えします。詳細は裏面をご覧ください。

また、各回の講義終了後には、**任意参加のフリートークの時間**を30分程度設けます。講義内容に対する質問に限らず、知財やビジネスについて日々悩んでいることや意見交換したいことなど、可能な範囲で何でもお答えします。

本講座は内容を更新しつつ6年目になりますが、過去の受講者へのアンケートでは、約**9割**の方から、**自社の業務にすぐにor将来的に活かせそうな内容があった**、との回答を頂いています。

※本講座は、中小企業、スタートアップ企業の経営者、知財担当者等で、知財に関する実務経験が比較的浅い方向けに構成しています。

主講師プロフィール

第1講：加藤 浩



青山特許事務所、顧問弁理士。大学教授として知的財産法の講義を担当している。20年ほど特許庁にて特許審査官・審判官を担当した。地方大学において10年近く特許塾の講師の経験あり。



第2講：中 富雄

工作機械メーカーから特許事務所に転職。複数の特許事務所で勤務後、中小企業支援を主な業務とするために10年前に独立する。独立する前から継続して中小企業支援に携わっている。



第3講：今野 佳洋

企業に所属する弁理士。発明者として企業内で商品開発と知的財産の融合を検討、実行する。商品開発責任者としてアメリカ子会社へ出向し、広義な知的財産にて売上を伸ばすことを経験する。

ファシリテート担当講師

主講師に加え、第1講：生塩 智邦、原 晶子 第2講：浜谷 康一、宮本 美紀
第3講：山本 睦也、永田 俊策 の各弁理士が、ワークショップでの討論をサポートします。

■主催：日本弁理士会 <https://www.jpaa.or.jp/>

講義内容(予定)

第1講：11月19日(火)

事業活動と知的財産権

第1部 ヒット商品と知的財産

第1章 商品開発と知的財産

- (1)自社の強みは何か
- (2)知財制度の役割
- (3)商品開発と知的財産

第2章 事例研究

・「モンカフェ」「ルンバ」「超立体マスク」「雪見だいふく」など

第3章 グループ討論

・開発者の視点から、知的財産の保護と活用に配慮した商品開発について検討します。

第2部 事業活動と知的財産

第1章 事業活動と知的財産活動

- (1)知的財産活動の現状
- (2)知的財産活動の課題(契約の問題を含む)
- (3)知的財産活動の今後の方向性

第2章 事例研究

・「セルフレジ事件(UNIQLO)」「クイックホイール事件(Apple社)」等

第3章 グループ討論

・知財担当者の視点から、開発された商品における知的財産の保護と活用について検討します。

第3部 企業経営と知的財産

第1章 知的財産戦略の考え方

- (1)知的財産戦略の必要性
- (2)知的財産戦略の類型、社内体制・予算
- (3)知的財産戦略の策定に向けて

第2章 事例研究

・知財ミックス戦略、オープン＆クローズ戦略、ポートフォリオ戦略など

第3章 グループ討論

・経営者の視点から、開発された商品に関する知的財産戦略を検討します。

第2講：11月26日(火)

知財はどう活用すべきか ～自社の「売り」を高める 知財の活用方法～

第1部 自社の「売り」を認識する

- (1)顧客に提供する価値を生み出す源泉とは
- (2)知財に対する認識を広げる

グループ演習①

“ヒット商品“となる理由を多角的に捉える

第2部 知財を捉える

- (1)価値の源泉を抽出する
- (2)価値の源泉における知財を認識する

グループ演習②

自社の「これまで」の姿を見直し、「これから」の在りたい姿を構想する

第3部 知財を活用する

- (1)自社の「売り」を最大化させるための知財戦略(オープン＆クローズ戦略)
- (2)知財活動の事例紹介(トヨタの特許開放等々)

グループ演習③

自社の「これから」の在りたい姿を達成するために知財を活用する

第4部 まとめ

第3講：12月3日(火)

稼ぎ続ける仕組みづくり

第1部 知的財産の変化

- (1)知的財産は役に立っていないのか
- (2)技術で勝ってビジネスで負ける日本

第2部 ビジネスモデルで知的財産を再定義する

- (1)R&Dプロセスにマーケティング要素を取り入れる
- (2)ビジネスモデルと知的財産の融合

グループ演習①

ビジネスモデルを想定した知財の活用
『実際の企業で起こった事例を元にニーズとシーズをどのように考えるべきかグループ討論します。』

第3部 知的財産マネジメントの活用方法

- (1)レベル別知的財産戦略
- (2)商標の有効活用
- (3)グレーゾーンの考え方

グループ演習②

競争優位性による知財の活用
『実際の企業で起こった事例を元に知財戦略をどのように考えるべきかグループ討論します。』

- 第1講では、事業に知財を活用するとはどういうことか、について我々の回答をお示しし、様々な事例や演習を通じて、それを実現するための手段の候補を提示します。
- 第2講では、仮想事例を題材に、第1講でお伝えした考え方を現場でどう実践できるかを考えて頂き、知財を活用するための戦略立案の基礎を身に付けていただきます。
- 第3講では、事業戦略(ビジネスモデル)と知的財産の関係性をお伝えし、経営者の役割についても触れることで、第2講までの内容を具体的に自社の事業へ適用するイメージを持って頂きます。

お申し込み方法

受講料

各回10,000円、全講まとめて申込の場合3回で21,000円(消費税込み)

定員

各回18名(先着順)

申込方法

下記URLの申込ページ(Peatix)より、お申込みください。
申し込みには当たっては、申込ページに記載の注意事項をよくご確認ください。

<https://peatix.com/event/4151588/>

